

X V 現行プログラム変更要望の次期対応について<4>

2014年11月14日

輸出入・港湾関連情報処理センター株式会社



➤ 現行プログラム変更要望一覧（次期NACCS検討用）

1. 航空・海上共通

2. 海上

➤ 検討可否欄の記号の見方

K：既にWGにおいて検討するとしている項目

S：サブWGにおいて検討する項目

○：WGにおいて検討する項目

現行プログラム変更要望一覧（次期N A C C S検討用）

1. <<航空・海上共通>>

項番	区分1	区分	要望元	業務コード	変 更 要 望 内 容	検 討 状 況	検討 要否	WG委員意見
1	航空 海上	貨物	成田通協	-	海上貨物の輸入から航空貨物として積み戻す場合など、航空・海上間での、貨物情報の移行手順をシステム内で確立してほしい。	「海上システムでの航空貨物を扱う機能の廃止」にて検討	K	
2	航空 海上	貨物	日本貿易会	IIR	輸入指示書登録（IIR）業務の項番80（通関方法）の選択肢に、下記項目を追加してほしい。 「HT（引取・納税申告）」 「H（引取申告）」 「T（特例申告）」	サブWG（S I ・ I V）対象	S	
3	航空 海上	貨物	日本貿易会	IIR IVA IDA	IIR業務での延納の担保番号などを、インボイス情報登録（IVA）業務や輸入申告事項登録（IDA）業務でも利用できるようにしてほしい。	サブWG（S I ・ I V）対象	S	（第8回） I D Aの運用を視野に入れるのであれば、税番入力欄が1つしかないので、少なくとも5欄程度入れられるよう検討してほしい。（通関） → I I R業務の品目コードは品名とのリンクがされていないため5欄に増やしてもメリットがない。また、荷主に品目コードの入力を求めるのは困難。
4	航空 海上	管理資料	日海貨	-	コンテナ検査を行った場合、管理資料（保税台帳）に輸入許可日が反映していないことから当該事項も反映してほしい。	仕様確認後検討可否決定 → 検査場で許可となった場合、検査場はシステム外の扱いなので、計上されないが、搬出元蔵置場にて計上してよいかを税関に確認 ⇒ 検討する	○	
7	航空 海上	管理資料	事務所個別	-	「口座使用明細データ」の出力項目「AWB番号／社内整理用番号」について、A i r - N A C C Sでも社内整理番号で出力してほしい。	検討する	○	
10	航空 海上	管理資料	日本貿易会	-	N A C C SとC C I Sの許可データ項目に相違があるが、C C I Sと同等の情報を提供してほしい。また、申告変更事項登録情報についても提供してほしい。	サブWG（S I ・ I V）対象	S	
19	航空 海上	共通	事務所個別	その他	船陸交通許可書、汎用申請を、携帯電話等の携帯端末にも、自動転送可能な機能をつけてほしい。また船陸交通許可書、汎用申請、入出港業務等の許可書は、EXC型電文ではなく、他の電文方式に変更してほしい。	サブWG（入出港）対象	S	
20	航空 海上	共通	日本貿易会	-	N A C C Sの各業務について、入力項目の名称や入力桁数を統一してほしい。	検討する	○	
21	航空 海上	共通	事務所個別	MSB	添付ファイル登録（MSB）業務において、添付できるファイルの容量（現在仕様3M B以上）を増やしてほしい。		K	
22	航空 海上	端末			パッケージソフトの機能改善（要望多数）。	複数の要望をまとめて検討する。	○	

項番	区分1	区分	要望元	業務コード	変 更 要 望 内 容	検 討 状 況	検討 要否	WG委員意見
23	航空 海上	端末	事務所個別	-	デジタル証明書について、Vista以降三つの証明書の取得が必要となっているため、一つに纏めてほしい。また証明書取得や更新時に遷移画面が多く、分かりづらいため、一画面で証明書の取得や更新が可能となるようにしてほしい。	検討する	○	
24	航空 海上	通関	事務所個別	OLC OLT	IS承認されている貨物を蔵置場から蔵置場への保税運送を、N A C C S で運送許可から搬入確認まで出来るようにして、受け取った側で、N A C C S 登録してN A C C S で在庫管理ができるようにしてほしい。	「蔵入及び移入貨物の後続業務の可能化」にて検討	K	
25	航空 海上	通関	日本通関業連合会	-	ISW時に再ISの申告情報を自動的に反映できるようにしてほしい。	「蔵入及び移入貨物の後続業務の可能化」にて検討	K	
26	航空 海上	通関	事務所個別	IDC	IS承認後も貨物情報を削除せず、N A C C S による貨物管理を行えるようにしてほしい。	「蔵入及び移入貨物の後続業務の可能化」で検討	K	
28	航空 海上	通関	事務所個別	-	輸出申告情報又は輸出貨物情報を利用して、再輸入手続きができるようにしてほしい。	輸出取止め再輸入手続きは検討する。	K	(第8回) Re-ship手続き後にUTL指示が来たときなど、現在マニュアル作業なのでシステム化を希望
29	航空 海上	通関	事務所個別	AMA	オンラインリアルタイム口座を使用した修正申告の場合にも、通常の輸入申告の場合と同様に、記事欄の内容を管理資料情報(CBF7620口座使用明細データ(営業所別実績))の「AWB番号/社内整理用番号」欄に出力してほしい。	検討する (*単純に記事欄を出力するという要望であれば)	○	<u>（第10回）</u> <u>リアルタイム口座を使用した修正申告でも記事欄情報を管理資料に出力する事は実現して頂きたい。（関係団体）</u> <u>→ 検討いたします。</u>
30	航空 海上	通関	JAFA	AMA	AMA業務の入力後、数日経過するとデータが消えるため、修正申告予定年月日を入力できるようにしてほしい。	システム制限値（DB保存期間）6日→10日を検討	K	(第8回) ・10日への変更を検討中ということですが、事前の確認などに時間がかかることも多いので、ぜひ検討していただきたい。 → 保存期間は日曜・祝日を除く日数であるため約2週間程度の保存される。 合わせて修正申告について補足要望です。 ・納付方法に「延納」の追加を希望 → 修正申告での当初納付税額を超える税額部分は延納の対象外であるため即納する必要があります。
31	航空 海上	通関	日海貨	AMA	修正申告事項登録データの保存期間が約1週間となっているが、事項登録から実際の申告までには、数日要する場合があるため、登録データ保存期間を2週間程度に延長してほしい。	システム制限値（DB保存期間）6日→10日を検討	K	・「マルチペイメント(MPN)」納付の場合、納付前ということで、延滞税が修正申告書上と納付番号通知情報に記載されず、顧客がインターネットバンキングで納付する際に計算された本税と合算された税額が振込画面上に表示されるだけなので、納付後には修正申告書に延滞税が記載されるようにしてほしい。（通関） → 修正申告の延滞税は納付後に確定するため、申告控に出力することはできません。ATM等の画面でご確認ください。
38	航空 海上	通関	事務所個別	EDA	EDA業務で作成した申告情報ファイルの保存期間を現行の6日から7日に変更してほしい。		K	

項番	区分1	区分	要望元	業務コード	変 更 要 望 内 容	検 討 状 況	検討要否	WG委員意見
40	航空海上	通関	JAJA	EDA	輸出申告事項登録画面を展開する際、大額、少額種別を選択するにもかかわらず、展開画面上にも「大額、少額識別」の入力するのは不要かと思われるので、当該欄の入力を省略できるようにしてほしい。	検討する	○	
41	航空海上	通関	日海貨	EDA	入力控では「提出先」、入力画面では「あて先部門」となっているため表記を統一してほしい。	「輸出入申告における入出力項目見直し」にて検討	K	
43	航空海上	通関	日海貨	EDA	最大50欄の欄数を増加してほしい。		K	
44	航空海上	通関	日本貿易会	EDA IDA	インボイスをH Sコード毎に仕分けした結果、申告欄数が50欄を越えると、分割申告をしなければならないので、改善してほしい。		K	
47	航空海上	通関	東京通関業会	IAS	1回1回送信するのではなく、ICG業務と同様に繰り返し照会ができるようにしてほしい。	検討する	○	
49	航空海上	通関	事務所個別	IDA	担保の適用日は、申告予定日としてほしい。	検討する	○	(第9回) 項番49担保の適用日、項番68包括保険の適用日等適用日ならないと入力できないものがある他に、法改正で変更となるH.Sコード、税率等これらを適用日以前でも入力できるように改善をお願いします。現在は適用日になるまではIDA業務で確実な書類作成ができないため適用日当日の書類作成が輻輳する現象がある。又適用日以前の場合は、輸入予備申告を実施することができない。(項番68と同様) → 適用日前でも事項登録が可能な項目について、併せて検討することといたします。
50	航空海上	通関	成田通協	IDA	延納を行った場合の入力控について、口座使用の場合と同様に1欄申告の場合は入力控を1枚で出力してほしい。	「輸出入申告における入出力項目見直し」にて検討	K	
53	航空海上	通関	東京通関業会	IDA	運送兼用の蔵入承認申請について、到着後、データ保管期間が3日間であり、搬入確認のタイミングが合わないため、他と同様1週間にしてほしい。		K	
54	航空海上	通関	東京通関業会	IDA	輸入承認証番号等の入力欄は5欄まで可能であるが、入力欄を増やしてほしい。		K	(第8回) 通関時に足りなくなることも多いのでぜひ検討して頂きたい。また業事書面の電子化に伴い、1申告あたりの届出数が増えることも予想されるので必要数を検討して頂きたい。(通関)
55	航空海上	通関	東京通関業会	IDA	仕出人及び住所欄の桁数を増やしてほしい。		K	

項番	区分1	区分	要望元	業務コード	変 更 要 望 内 容	検 討 状 況	検討 要否	WG委員意見
56	航空 海上	通関	東京通関業会	IDA	入港日が必須項目となっているが、航空システムで可能となっているように、ブランクにて申告できるようにしてほしい。	仕様確認後検討可否決定 → S e a は基本的に I D A 時点で必須（郵便物除く）。 ただし、貨物情報からの補完は可能となっている。 → 具体的にどのような場合を想定しているか確認 ⇒ 検討する	○	(第9回) 輸入予備申告を行い審査終了になっていても、本船の入港が天候等の都合で変更になった場合には都度、税関へ入港日の変更連絡を行い訂正業務（I D D）を実施します。その後、税関が再度審査終了を実施しています。入港日の項目がなければこのような訂正業務は発生しないと思います。入港日の項目が省略できないのであれば入力項目とはせず輸入本申告をすれば入港日を自動的取り込むように改善できないか。 → 入港日の入力を省略できるか検討いたします。
60	航空 海上	通関	日海貨	IDA	輸入申告入力控の関税・消費税の「納付方法及び口座」欄を延納番号、口座番号と表示してほしい。	「輸出入申告における入出力項目見直し」にて検討	K	
63	航空 海上	通関	日海貨	IDA	他法令が関連している場合、複数 B / L を1申告合算して行う際、共通管理番号が使用できない。B / L の共通管理番号を他法令 B / L 分として共通に申告できるようにしてほしい。	「他法令手続きにおける複数 B / L 入力可能化」にて検討	K	
65	航空 海上	通関	成田通協	IDA	輸入申告事項登録（輸入申告）（IDA_AID）業務で、口座番号入力画面が下部に隠れているため、画面全体が表示されるようにしてほしい。	「輸出入申告における入出力項目見直し」にて検討	K	
66	航空 海上	通関	事務所個別	IDA	輸出入者符号と包括保険番号をキーにして、包括保険指数の照会業務を追加してほしい。	サブWG（損害保険）において検討	S	
68	航空 海上	通関	事務所個別	IDA	輸入申告事項登録（IDA）業務について、包括保険登録番号は適用日に関わらず、入力できるようにしてほしい。	検討する	○	(第9回) 項番49担保の適用日、項番68包括保険の適用日等適用日ならないと入力できないものがある他に法改正で変更となるH.Sコード、税率等これらを適用日以前でも入力できるように改善をお願いします。現在は適用日になるまではIDA業務で確実な書類作成ができないため適用日当日の書類作成が輻輳する現象がある。又適用日以前の場合は、輸入予備申告を実施することができない。（項番49と同様） → 適用日以前でも事項登録が可能な項目について、併せて検討することといたします。
74	航空 海上	通関	東京通関業会	IER	IER業務について、ICGやIID業務のように繰り返し入力を可能にしてほしい。	検討する	○	
75	航空 海上	通関	日海貨	IER	一度に複数の通貨について照会できるようにしてほしい。または換算レート表示画面から別の通貨の照会を可能にしてほしい。	検討する	○	
76	航空 海上	通関	JAF A	IES	IES業務の照会事項に下記の項目を追加してほしい。 輸出者名（輸出者符号ではなく会社名を表記してほしい） 仕立先のMAWB番号 / 積込港 / 仕向け地 / 個数 / 重量	「仕向地の項目追加及び申告時間順の表示変更」にて検討	K	

項番	区分1	区分	要望元	業務コード	変 更 要 望 内 容	検 討 状 況	検討 要否	WG委員意見
81	航空 海上	通関	日本貿易会	IVA	NACCSとCCISの許可データ項目に相違があるが、CCISと同等の情報を提供してほしい。(輸入担保番号、輸出B/L番号等また、輸出入申告変更事項登録情報、修正申告・更正の請求情報についても提供してほしい。)	サブWG (S I ・ I V) 対象	S	
82	航空 海上	通関	日本貿易会	IVA	インボイス・パッキングリスト情報登録 (IVA) 業務について、入力した品目の明細を、PDF化できるようにしてほしい。	サブWG (S I ・ I V) 対象	S	
83	航空 海上	通関	日本貿易会	IVA	インボイス・パッキングリスト情報登録 (IVA) 業務について、通関業も入力可能な業種としてほしい。	サブWG (S I ・ I V) 対象	S	
84	航空 海上	通関	日本貿易会	IVA IVB	輸出入者郵便番号の桁数設定が、IVA業務は9桁で、IVB業務は7桁となっているため、IVA業務で入力した郵便番号が、IVB業務に引き継がれるようにしてほしい。	サブWG (S I ・ I V) 対象	S	
85	航空 海上	通関	東京通関業会	MIC	マニフェスト通関において、事項登録機能がないため、新規業務を導入してほしい。		K	
86	航空 海上	通関	Jafa	MIC	マニフェスト通関において、IDA業務と同様に申告内容チェックのため、入力控を出力してほしい。		K	
87	航空 海上	通関	Jafa	MID	マニフェスト申告の本申告起動処理を行う際に、MID業務を利用して呼び出しを行わなくても、直接MIC業務から起動できる機能を追加してほしい。	仕様確認後検討可否決定 → 項番85,86を実現することにより対応可能	K	
89	航空 海上	通関	日海貨	MOA	MOA業務に抹消上の整理番号・車体番号を入力する際、以前のNACCSと同様に、入力した順番で登録できるようにしてほしい。	検討する。	○	(第9回) 1 申告で複数の車両がある場合、インボイス記載の順番でMOA登録しているが許可書では整理番号順に変わっていて見づらい。 → 入力順で表示できるよう検討いたします。
90	航空 海上	通関	日海貨	MOA	EDA業務と同様、6日間保存できるようにしてほしい。	要望内容確認後検討可否決定 海貨業からの要望であるが、WGにて通関の意見を確認 → 意見はなかったが、申告業務と同様の保存期間とするよう検討する。	○	

項番	区分1	区分	要望元	業務コード	変 更 要 望 内 容	検 討 状 況	検討 要否	WG委員意見
91	航空 海上	通関	日海貨	MOA	入力後、出力コードS M O Aに番号が入らないため、出力したものにM O T Sの番号が記載されたものが出力されるようにしてほしい。	要望内容確認後検討可否決定 海貨業からの要望であるが、WGにて通関の意見を確認 → 特段の意見もないことから検討しないこととする。		(第9回) 出力して紙面でチェックを基本としているため、M O A画面を出力した場合、紙面にM O T A S番号があるとありがたい。 → M O A実施後の送信画面またはI M O業務の照会結果画面を印刷してご利用ください。 <u>(第10回)</u> M O A業務後の処理結果電文を印刷しても、M O T A S番号(輸出自動車情報登録番号)は出力されない。また、現状M O T A S番号が電文を印刷したペーパーに印字されないため、複数のM O A業務申請時にM O T A S番号を探すのに手間が掛っており、業務に支障が生じている。探すのに手間が掛っているM O T A S番号を入力しなければならないI M O業務での照会では、そもそも解決できない。よって、この回答は業務の実態を把握されておらず、不適切と言わざるを得ない。M O A業務後の処理結果電文を印刷する際にM O A番号を出力するようにするか、M O A業務後に登録通知情報を出力するよう、改めて要望する。(海上 通関・物流等WG委員) → M O A業務後の受信一覧の処理結果電文を右クリックして印刷すればM O T A S番号(輸出自動車情報登録番号)を印刷することができます。しかしながらM O A業務で登録した内容は印刷できませんので、入力控を出力する方向で検討いたします。
95	航空 海上	通関	事務所個別	UEC	別送品申告(UEC)業務の出力情報コード「AAE2KD0」、 「AAE3KD0」、許可書「AAE2FK0」については、自社システム宛2重許可出力コードが設定されていないため、2重出力出力情報コードを追加してほしい。	検討する	○	
97	航空 海上	通関	日本貿易会	ー	«IS・ISW通関機能のAEO対応機能の新設» 加盟個社が取扱う煙草の輸入に関して、現在IS・ISW通関で対応しているが、現行N A C C S上では、IS・ISWによる申告がAEOでの引取申告・納税申告にリンクする機能が備わっていない。そのため、IS・ISWによる申告手続を行う煙草のAEO輸入取得を検討している社にとっては、大きな障害になっている。IS・ISW通関を実施する機能がAEO通関に対応していないため、1週間に1度大量の煙草が輸入される都度、通関業者がマニュアルでIC通関を実施することになり、コスト、時間を費やすだけでなく、実務面においても大変非効率である。	「I S ・ I S W通関におけるA E O対応機能の新設」にて検討	K	
98	航空 海上	通関	日海貨	新規	「輸出取止再輸入」の申告・許可をシステム化してほしい。	ー	K	(第8回) 輸出取止再輸入の申告、許可をシステム化してほしい。現行マニュアル対応なので是非ともシステム化に。(通関)

項番	区分1	区分	要望元	業務コード	変 更 要 望 内 容	検 討 状 況	検討 要否	WG委員意見
104	航空 海上	通関	海上WG委員 (通関)	MP2	IDA等で荷主の依頼により入力している記事（荷主）欄の内容をリアルタイム口座振替完了通知書に出力して欲しい。 (理由) 今後専用口座が廃止されれば銀行の領収証書が無くなるため荷主から記事欄の活用が求められる可能性がある。実際に荷主から記事（荷主）欄をリアルタイム口座振替完了通知に反映させてほしいとの要望もある。 記事（荷主）欄に荷主指定の任意の番号等を入力することにより書類の整理、保管、通帳とのつき合わせに活用可能となる。	検討する	○	第8回WG後の追加要望
108	航空 海上	通関	海上WG委員 (通関)	—	(要望) 現行の少額申告ではH S 9桁入力ができるようになっているが、9桁入力しようとするとエラーとなる。（4桁入力は可能） 「申告官署の自由化」により、他税関にも申告が可能になると、少額の場合がH S入力が必須になる。また「I V A」が利用されるようになることを考えると、H S 9桁を入力すれば（大額と同様に）少額の品名欄にタリフの品名が表示されるようにして欲しい。電子化になっても少額の品名入力だけが手入力として残ることになり事務の簡素化を阻害する。	検討しない 少額申告の場合、当該欄は任意項目です。入力する場合は4桁まで入力可能な仕様となっています。 品名欄には正しい品名を入力する必要があります。	○	第9回WG後の追加要望 <u>（第10回）</u> <u>・少額の場合は品名が必須入力となっている。品名の入力方法として現行のインボイス品名の手入力の他H Sコード9桁を入力することでタリフの品名を自動払い出し（大額申告と同様）されるようにしていただきたい。（海上 通関WG委員）</u> <u>（理由）インボイスをデータで受信する場合大額申告は手入力部分が少ないが少額は全申告において品名を手入力しなければならない。また、「申告の自由化」に向けて遠隔地の税関に申告するにはH Sコードの入力が必須になることが想定されH Sを入力して品名の手入力を省くことで少額の事項登録の電子化が実現する。</u> <u>→ ご意見を踏まえ検討いたします。</u>
113	航空 海上	通関	日本貿易会	IDA	<u>（現状）</u> <u>輸入申告事項登録（I D A）時、輸入者コードと輸入取引者コードが両方入力されている場合、輸入取引者が優先され、輸入者には許可データが通知されない。</u> <u>※ さらに輸入者が自社通関した場合は、輸入取引者の方に許可データが来ないように見受けられる。</u> <u>（要望）</u> <u>① 輸入申告事項登録（I D A）にて項番13：輸入者コード、項番24：輸入取引者コードが両方入力されている場合、輸入者、輸入取引者双方に許可データが流れるような仕様にしていきたい。</u>	<u>検討いたします。</u>	○	第10回WG後の追加要望
117	航空 海上	通関	日海貨	二	<u>（要望）関係団体 日海貨</u> <u>搬入時申告を行い搬入時にエラーとなった場合、エラー通知が処理結果通知のみであり該当の申告を探すのに苦労するため、エラーがあったことが一目で分かるようにしていただきたい。</u>	<u>自動起動での申告にエラーがあった場合、エラーがあったことが直ちに分かるような仕組みを検討いたします。</u>	○	第10回WG後の追加要望

現行プログラム変更要望一覧（次期N A C C S 検討用）

2. <<海上>>

項番	区分1	区分	要望元	業務コード	変 更 要 望 内 容	検 討 状 況	検討要否	WG委員意見
1	海上	貨物	東京通関業会	－	B / L 番号の桁数を25桁にしてほしい。	35桁の運用を開始する。	K	
2	海上	貨物	日本貿易会	SIR ACL01	S I R 業務のブッキング番号、積載予定船舶コード、積出港コード、航海番号、コンテナ本数の項目が、A C L 0 1 業務に継承できるようにしてほしい。	サブWG（S I ・ I V）対象	S	
4	海上	貨物	CY	－	空バン（空コンテナ）のトランシップ処理対応が、現状マニュアルで行っているため、N A C C S で処理が出来るようにしてほしい。	サブWG（入出港）対象	S	
5	海上	貨物	日海貨	ACL01	バンニング情報の登録の際に入力している項目（バンニング個数、荷姿、重量、容積）についても同様に補完してほしい。	サブWG（A C L）対象	S	
6	海上	貨物	外国船舶協会	ACL01	船会社が発行するMaster B / L No.を記載出来る欄を増やしてほしい。	サブWG（A C L）対象	S	
7	海上	貨物	外国船舶協会	ACL01	着荷通知先住所電話番号・荷受人住所電話番号の欄は105桁であるため、50桁増やしてほしい。	サブWG（A C L）対象	S	
8	海上	貨物	日海貨	ACL01	荷姿コード" P P "の明細が「P A L L E T & P A C K A G E」と表示されるため、「P A L L E T」と表示してほしい。	サブWG（A C L）対象	S	
9	海上	貨物	日海貨	ACL01	SHIPPER, CONSIGNEE, NOTIFYの名前、住所が分かれるため、当該欄についてまとめて出力するようにしてほしい。	サブWG（A C L）対象	S	
10	海上	貨物	日海貨	ACL01	「運賃協定払い」欄等項目が無い所に表示されるものがあるため、項目を出力してほしい。	サブWG（A C L）対象	S	
11	海上	貨物	日海貨	ACL01	個数・グロス重量・容積が2ヶ所あるので1ヶ所にしてほしい。	サブWG（A C L）対象	S	<u>（第10回）</u> <u>個数・グロス重量・容積は2か所のままにして頂きたい。（関係団体）</u> <u>→ 現仕様を変更しない方向で検討しています。</u>
12	海上	貨物	日海貨	ACL01	ケースマークについて、5行目で改頁するため、15行目まで増やしてほしい。	サブWG（A C L）対象	S	
13	海上	貨物	日海貨	ACL01	共通部2のグロス重量について桁数を13桁にしてほしい。	サブWG（A C L）対象	S	
14	海上	貨物	日海貨	ACL01	BOOKING番号を複数欄設けてほしい。	サブWG（A C L）対象	S	
15	海上	貨物	日海貨	ACL01	シール番号欄を4欄にしてほしい。	サブWG（A C L）対象	S	

項番	区分1	区分	要望元	業務コード	変 更 要 望 内 容	検 討 状 況	検討要否	WG委員意見
16	海上	貨物	日海貨	ACL01	MARKの幅を増やしてほしい。	サブWG（ACL）対象	S	
17	海上	貨物	日海貨	ACL01	内個数を10個くらいに増やしてほしい。	サブWG（ACL）対象	S	
18	海上	貨物	日海貨	ACL01	SHIPPER CONSIGNEE, NOTIFY PARTY欄についてスペースを増やしてほしい。	サブWG（ACL）対象	S	
19	海上	貨物	日海貨	ACL01	項目内で改行を行う際、スペースキーを利用しているが、入力時間を短縮するためENTERキーでの改行ができるようにしてほしい。	サブWG（ACL）対象	S	
20	海上	貨物	日海貨	ACL01	複数のACLデータは代表1件目のみに総件数を通知するようにしてほしい。	サブWG（ACL）対象	S	
21	海上	貨物	事務所個別	ACL01	船積確認事項登録（コンテナ船用）（ACL01）業務の重量欄について重量単位を「KG」入力する欄の入力桁数（整数部6桁）を増やしてほしい。	サブWG（ACL）対象	S	
22	海上	貨物	事務所個別	ACL01	バンニング情報登録前に仮登録したACL情報について、バンニング情報登録後に呼出しを行うと、「個数」、「荷姿」、「グロス重量」等のコンテナ情報が補完されないの で、これらの情報を補完するようにしてほしい。	サブWG（ACL）対象	S	
23	海上	貨物	事務所個別	ACL01	船積確認事項登録（ACL）業務におけるカスタマイズ帳票は、共通項目の部分とコンテナ情報等の部分では、テンプレート を1ページに集約することもできない。また、コンテナ情報のページにブッキング番号等のキー項目を表示することができないため、カスタマイズ帳票のテンプレートを1つにまとめてほしい。	サブWG（ACL）対象	S	
24	海上	貨物	事務所個別	ACL03 ACL04	船積確認事項登録（ACL03、ACL04）業務について、荷送人、荷受人、着荷通知先、記号番号及びシール番号欄の入力項目の文字数、桁数を増やし、入力欄についても追加してほしい。 また、ACL03、04では、輸出申告番号からの情報呼び出しやCY・CFS欄の通知等、ACL01、02にある機能が無くなっているため、機能を追加してほしい。	サブWG（ACL）対象	S	
28	海上	貨物	日海貨	BIC BOC	搬出入日について、未来日が入力された場合、ワーニングメッセージが表示されるようにしてほしい。	仕様確認後検討可否決定 ⇒ BIC業務は未来日の入力が不可。BOC業務はチェックなし。 ⇒ BOC業務において未来日を入力した場合はワーニングとする。	○	

項番	区分1	区分	要望元	業務コード	変 更 要 望 内 容	検 討 状 況	検討要否	WG委員意見
29	海上	貨物	事務所個別	CCL	①「船積確認登録（CCL）」業務を実施する本船に係る輸出申告において、要船積確認の旨登録されているデータが存在する場合は、船会社又は船舶代理店以外がCCL業務を登録できないようにしてほしい。（CCL業務は、一船ごとの登録であり、誤って他の業種で行われてしまうと、多数の申告者に船積確認通知情報の出力不可の影響が及んでしまいます。）	特段の意見もないことから検討しないこととする。 → ご意見を踏まえ検討いたします。	○	(第9回) 船社又は船舶代理店以外の利用者のCCL業務を可能としたのは、CCL業務が行われないことへの救済策であり、コンテナ船のCCL業務は、CYに代行入力するよう依頼されることが多々ありました。ただし、CY等船社又は船舶代理店以外の利用者がCCL業務を行なった場合は、施行令15条一（船長又はこれに代わる者の受領証）でいう該当者でないので搭載確認印情報を送付されません。その場合、当該業務はマニュアル対応となるため、CYは、海貨業者及び通関業者等から搭載確認印の入手の依頼を受け、Mate Receiptと輸出許可書のCOPYを持って監視部門へ行き搭載確認を受けなければなりません。 以上のことから、項番29と同様、船社又は船舶代理店以外のCCL業務は認めないか、誰がCCL業務を行ったとしても搭載確認情報を送付いただきたい。 → ご意見を踏まえ検討いたします。
30	海上	貨物	日海貨	CMF02	トランシップでない揚コンテナの貨物情報は、船会社が税関に積荷目録提出を行った際に、ターミナル側にデータが送信されてくるが、トランシップ情報は一切送信されてこない。マニフェストデータの追加・訂正情報を、ターミナル側が受信出来るようにしてほしい。	サブWG（入出港）対象	S	
31	海上	貨物	事務所個別	CMF03	「積荷目録提出（DMF）」業務実施後、「船積情報登録（CLR）」業務実施前の間に、次港において積荷目録情報訂正（次船卸港の追加）（CMF03）業務が実施できるようにしてほしい。	サブWG（入出港）対象	S	
32	海上	貨物	事務所個別	CMF03	船卸確認登録（PKK／PKI）業務前に、前港において次港の積荷目録情報訂正（次船卸港の追加）（CMF03）業務が実施できるようにしてほしい。	サブWG（入出港）対象	S	
33	海上	貨物	事務所個別	CMF03	「CY搬出確認登録（CYO）」業務後に、前港において次港の積荷目録情報訂正（次船卸港の追加）（CMF03）業務が実施できるようにしてほしい。	サブWG（入出港）対象	S	
34	海上	貨物	事務所個別	CMF03	「積荷目録情報登録（MFR）」業務について、「船積情報登録（CLR）」業務前であっても、仮陸揚運送兼用の貨物がある場合に、次港の積荷目録情報訂正（次船卸港の追加）（CMF03）業務が実施できるようにしてほしい。	サブWG（入出港）対象	S	
37	海上	貨物	事務所個別	DMF	マニフェスト情報の登録可能日を、10日から30日程度前にしてほしい。	サブWG（入出港）対象	S	
38	海上	貨物	船舶代理店協会	DMF	マニフェスト情報の保存期間について、DMF業務を利用して登録した入港年月日から6日となっているため、これを10日としてほしい。	サブWG（入出港）対象	S	

項番	区分1	区分	要望元	業務コード	変 更 要 望 内 容	検 討 状 況	検討要否	WG委員意見
39	海上	貨物	事務所個別	DOR	「輸入許可情報」が許可後6日で削除され、その後のDOR業務がエラーとなるため、輸入許可情報の保存期間の延長してほしい。	システム制限値（DB保存期間）と併せて検討する。	○	(第9回) 当該業務は、輸入許可コンテナに対してCYOを行わない運用を取っている名古屋港だけの問題である。 → ご意見ありがとうございます。対応について検討します。
41	海上	貨物	日海貨	ECR	ECR業務で取得した情報を何度か訂正する場合、プリントアウトに出力順を示す情報がないため、最新情報が不明になることから、プリントアウトの際、出力日時を出力してほしい。	検討しない 印刷日時であれば出力可能		(第9回) 「印刷日時で出力可能」ということであれば、印刷日時を出力してほしい。 → 最新情報かどうかにつきましては、受信電文で確認できますので、そちらでご確認ください。 <u>(第10回)</u> <u>○</u> 複数の担当者がそれぞれ業務を行っており、各担当者のパッケージソフトにある受信電文の日時を一つ一つを確認することは非常に困難であり、現実的ではない。よって、この回答は業務の実態を把握されておらず、不適切と言わざるを得ない。ECR業務後に出力される「輸出貨物登録情報」を印刷して担当者間で共有し、チェックを行っているため、出力日時または印刷日時を出力するよう、改めて要望する。(海上 通関・物流等WG委員) → 印刷した情報の新旧が分かるような仕組みを検討します。
44	海上	貨物	事務所個別	IAL	「船積情報照会（IAL）」業務の照会結果に、ACLO1、ACLO2業務の送信履歴を出力してほしい。	サブWG（ACL）対象	S	
45	海上	貨物	事務所個別	IAL	「船積情報照会（IAL）」業務による照会結果に、通知先コード1、2が表示されないので、出力してほしい。また、ACL仮登録でも照会が可能となるようにし、仮登録状態か本登録状態か、取り消し状態かを区別できるようにしてほしい。	サブWG（ACL）対象	S	
47	海上	貨物	日海貨	ICG	①ある貨物管理番号に対し全体情報（TTL）を取得する際、その都度貨物管理番号と指定情報を入力する必要があるため、一度入力した番号について1クリックで情報を再取得できるようにしてほしい。 ②また、現行は概要情報（SMR）がデフォルトになっているが、全体情報（TTL）の利用が殆どであるため、全体情報（TTL）をデフォルトになるよう変更してほしい。	①検討しない ②検討する WGにて要望内容詳細確認	○	
54	海上	貨物	事務所個別	PID	「入港年月日」欄とVIX等の着岸予定年月日とに違いがある場合は、ワーニングメッセージを出力してほしい。	サブWG（入出港）対象	S	
55	海上	貨物	事務所個別	PID	本船入港年月日欄の入力ミスを防ぐために、入港年月日欄にあらかじめ「処理年月日」がデフォルトで表示されるようにしてほしい。	サブWG（入出港）対象	S	

項番	区分1	区分	要望元	業務コード	変 更 要 望 内 容	検 討 状 況	検討 要否	WG委員意見
56	海上	貨物	CY	PID	「到着確認登録（PID）」業務入力時に、本船入港日欄を誤って登録する事例が多く、後続に与える影響が大きい ため、次の仕様変更をしてほしい。 ①入港日欄に予めデフォルト値として「処理年月日」を表示してほしい。	サブWG（入出港）対象	S	
57	海上	貨物	CY	PID	②代理店業務（VIX等）での着岸日時と相違がある場合、ワーニングメッセージを表示できるようにしてほしい。	サブWG（入出港）対象	S	
58	海上	貨物	事務所個別	PKI PKK	③「船卸確認登録（個別）（PKK）」、「船卸確認登録（一括）（PKI）」業務で卸リストコンテナ通知にVOY（航海番号）を表示させてほしい。	サブWG（入出港）対象	S	
59	海上	貨物	事務所個別	PKI PKK	「船卸確認登録（個別）（PKK）」及び「船卸確認登録（一括）（PKI）」業務において、「積荷目録提出（DMF）」業務で登録された入港日とPKK・PKI登録時にチェックを行い、入港日より過去の日付であった場合はエラーとなるようにしてほしい。	サブWG（入出港）対象	S	
62	海上	貨物	東京通関業会	RSS01	B/L仕分け後は、RSS01業務ができないことから、登録出来るようにしてほしい。	検討する	K	
63	海上	貨物	東京通関業会	RSS01	間違ったCYコードを入力しても送信されてしまうため、B/L番号、コンテナ番号などからCYコードとの相違がある場合は、メッセージ等でガードをかけてほしい。	検討する 仕様確認中（実現可能か） ⇒ 蔵置されているCYまたはMFRで入力されたコンテナオペレーション会社とのチェックは可能 ⇒ 差異がある場合はワーニングとする。	○	
65	海上	貨物	東京通関業会	RSS01	通知先を間違えたとき、エラーで知らせてほしい。	要望内容確認後検討可否決定 システム上誤りを判断するのは困難	K	
68	海上	貨物	日本貿易会	SIR	申告予定者と海貨業者が同一法人の場合は、船積指図書（S/I）情報登録（SIR）業務の申告予定者が、船積確認事項登録（ACL）業務の海貨業者コードに自動的にセットされる機能を追加してほしい。	サブWG（SI・IV）対象	S	
69	海上	貨物	日本貿易会	SIR EIR	NACCSと船社のシステムとを連携させて、船社の入力するブッキング情報、SCACコード等の各種コードを利活用できるようにしてほしい。	サブWG（SI・IV）対象	S	
70	海上	貨物	日本貿易会	SIR EIR	荷主としてACL業務の情報だけではなく、B/L情報も入手できるようにしてほしい。	サブWG（SI・IV）対象	S	

項番	区分1	区分	要望元	業務コード	変 更 要 望 内 容	検 討 状 況	検討要否	WG委員意見
71	海上	貨物	日本貿易会	SIR IVA	同一船積の「船積指図書（S/I）情報登録（SIR）」業務と、「インボイス・パッキングリスト情報登録（IVA）」業務を関連づける仕組みがほしい。	サブWG（SI・IV）対象	S	
76	海上	貨物	事務所個別	VAN VAE	①バンニング情報登録（VAN・VAE）業務において、未来日の搬出日時が入力可能となっているが、搬入日より後の搬出日の入力不可とする仕様に変更してほしい。 ②また、VAN・VAE業務において、ISOコンテナ番号チェックがあるが、誤って12桁を入力した場合、チェックがされない仕様のため、桁数誤りでもチェックがされるようにしてほしい。およびVAH業務でもコンテナ番号チェック機能を付けてほしい。	①検討しない ②仕様確認中 → 先頭4桁がアルファベットの場合のみチェックを行っている。VAHはチェックを行っていない。 VAN・VAEは、ISOコンテナ番号（先頭4桁が英字）が対象となっており、『コンテナ番号（11桁）＝英字（4桁）＋数値（6桁）＋チェックデジット（1桁）』でチェックしている。 よって先頭4桁が英字であっても、コンテナ番号を誤って12桁入力した場合は、チェックがされない。	○	
77	海上	貨物	事務所個別	IML	IML業務でマスターB/L単位、あるいはハウスB/L単位での登録済み件数の表示が出るような修正をしてほしい。 また、IML業務での修正が無理ならば別の業務での修正でもよい。 （要望理由） AMRの登録漏れが防げる。またMFR前にもAMR登録件数を確認できることによりAMR登録者へのデータ修正等の要請もしやすくなり、税関に対してより正確な貨物情報の提供ができるようになる。	サブWG（AFR）にて検討	S	
78	海上	貨物	企画部個別	複数	「G01 輸入貨物搬出入データ」及び「G02 輸出貨物搬出入データ」の「搬入日」及び「搬出日」の入力業務において、データ入力日以外の「過去日」又は「未来日」を入力した場合にワーニングを出力してほしい。	検討する	○	（第9回） 輸出許可済貨物の搬出確認登録の誤入力防止のための措置（入力日と異なった搬出日を入力する場合のワーニング設定）として検討項目に加えて欲しい。 → 保税管理資料に影響がある業務の搬出入日の入力チェックについて検討します。
79	海上	貨物	日海貨	新規	ペーパーレスを目的として、「危険品事前連絡表」、「コンテナ危険物明細書」の船会社送付業務をシステム化してほしい。	危険物明細書の提出業務で検討	K	
80	海上	貨物	日本貿易会	SIR IVA	SIR業務とIVA業務で共通する項目の桁数を揃えてほしい。	サブWG（SI・IV）対象	S	
81	海上	貨物	JIFFA	ACL01	荷送人等の名称、住所電話番号欄の改行が35桁であり、JIFFA標準では48桁（10pt）改行ため、名称欄のずれが生じてしまう。改行桁数について検討を行ってほしい。		S	

項番	区分1	区分	要望元	業務コード	変 更 要 望 内 容	検 討 状 況	検討 要否	WG委員意見
82	海上	貨物	JIFFA	ACL01	F A X 番号（任意項目 3 欄）の運用をやめてほしい。 （要望理由）海貨業者が船会社に直接 A C L 情報を海貨 F A X 番号を入れて送信した場合、運賃情報が本来受け取るべき N V O C C 以外の社に漏れてしまうため。		S	
83	海上	貨物	JIFFA	ACL01	A C L 情報を受け取る側の保税蔵置場で、通知先コードを誤って本来の搬入先でない蔵置場に送信される場合があるため、チェック機能を設けるか誤送信先が誤送信であることを知らせるような仕組みを作ってほしい。 （要望理由）誤って送信されると、実際の貨物と情報が一致していない状況が放置される状態となるため。		S	
84	海上	貨物	JIFFA	ACL01	J E T R A S のライセンス取得有無がわかるような欄を設けてほしい。 （要望理由）香港で船卸の際にライセンスの確認が必要であるが、輸出許可書には記載があるが N V O C C には分からないため危険品同様に欄を設けてほしい。		S	
85	海上	貨物	事務所個別	ACL01	繰返部のコンテナ情報にフラットラックコンテナのオーバーワイド、オーバーハイトの欄を設けてほしい。 （要望理由）現状欄がないため記事欄に入力している。フラットラックが複数本のときに桁数が不足する場合があるため。		S	
86	海上	貨物	事務所個別	ACL01	禁止文字「_（アンダーバー）」を使用可能としてほしい。 （要望理由）メールアドレスの入力を希望する荷主が近年増えており、「_」が含まれている場合アタッチにする必要がある。		S	
87	海上	貨物	事務所個別	ACL01	船舶コード（コールサイン）を入力した場合にリアルタイムで船舶名称が確認できないか。 （要望理由）キー項目であるため訂正が出来ず、再送信となり手間であるため。		S	
88	海上	貨物	JIFFA	ACL02	繰返部に車台番号、エンジン番号以外に実務上シャシーごとの L W H が必要なので、入力欄を設けてほしい。 （要望理由）現状 E x c e l で別途 L W H の情報を送ってもらう必要がある。		S	
89	海上	貨物	JIFFA	ACL12	数量の合計はできるが、品名と記号番号の合計が出来ず中途半端で現状使用している社がない。コンテナマニフェストのような情報にまとめられるようにしてほしい。		S	

項番	区分1	区分	要望元	業務コード	変 更 要 望 内 容	検 討 状 況	検討 要否	WG委員意見
90	海上	貨物	JIFFA	ACL12	F C L の数量や品名はそのままに荷送人等情報だけ M B / L 情報に書き換えて送信できる機能を検討してほしい。 (要望理由) F C L の貨物を N V O C C で扱う機会が増えており、A C L 1 2 で送信する機能があればよい。		S	
92	海上	管理資料	事務所個別	その他	管理資料情報「G03」保税運送申告一覧データは出力先に C Y が含まれていない。 「G03」保税運送申告一覧データを C Y でも受信／使用できるようにしてほしい。 (要望理由) C Y においても保税運送申告を行うが、現状、件数等の照合作業は手作業でしか行えない。 同管理資料を使用することで、照合作業の効率化に繋がる。	検討する	○	
93	海上	管理資料	事務所個別	その他	S e a - N A C C S の管理資料（口座使用明細データ：CBF7620）には、社内整理番号が出力されるが、A i r - N A C C S においては「AWB番号」欄と「社内整理番号」欄が一緒の項目になっているため、AWB番号が出力されると、社内整理番号が出力されない仕様のため、項目を分けて両方出力してほしい。	検討する	○	
94	海上	通関	東京通関業会	MHA	持出先欄を日本語表記可能としてほしい。	検討する その他、日本語入力可能要望について全体的に検討	○	
98	海上	通関	日海貨	OLC	O L C 業務において入力控を出力してほしい。		K	
100	海上	通関	CY	OLC	仮陸揚貨物の保税運送（市内運送）の場合、価格の入力が必須項目になっているため、一般の保税運送（市内運送）と同様に、価格の入力を任意項目にしてほしい。	検討する	○	
101	海上	通関	日海貨	OLC	「保税運送申告（O L C）」業務について、入力後に送信すると、直ちに税関申告となってしまうため、送信後に入力控を出力して、それを確認後に税関に送信される仕様にしてほしい。	関係省庁で、引き続き検討中です。	K	
104	海上	通関	東京通関業会	-	羽田空港国際線就航に伴い、東京港保税蔵置場での機用品蔵置需要が高まるため、海上システムにおいても各種機用品業務が出来るようにしてほしい。	機用品蔵入承認申請業務の海上貨物への拡大で検討	K	
105	海上	通関	船舶代理店協会	HFC	HFC業務の事項登録業務を作成してほしい。	事項登録業務・確認業務・呼出し業務の新設で対応	K	
106	海上	入出港	事務所個別	CPC	①「不開港出入港申請（C P C）」業務において、送信前に確認画面等において入力内容を確認できるようにしてほしい。	サブWG（入出港）対象	S	

項番	区分1	区分	要望元	業務コード	変 更 要 望 内 容	検 討 状 況	検討要否	WG委員意見
107	海上	入出港	事務所個別	CPC	②純トン数と船舶DBに相違がある場合は、エラー（送信しない）としてほしい。	サブWG（入出港）対象	S	
108	海上	入出港	船舶代理店協会	CRW03	シヨアパスの発給日の記入欄が無いため、記入する欄を設けてほしい。	関係省庁に確認後検討可否決定	S	
109	海上	入出港	船舶代理店協会	CRW03	①VPT業務で乗員情報を入力後、CRW01業務で情報呼び出し、CRW03業務をする際に、VPT業務にて備考欄に入力した「身分証明書有効期限」が反映されないため、VPT業務で乗員情報を入力する際に「身分証明書有効期限」欄を設けて、CRW03業務で反映させ、CRW03業務で入力する項目を極力減らす。	関係省庁に確認後検討可否決定	S	
110	海上	入出港	船舶代理店協会	CRW03	「乗員上陸許可申請（CRW03）」業務画面について、CRW01業務で呼び出しているのにも関わらず、船舶運航者コード・船舶運航者名・船舶代理店電話番号を入力しなければならないため、これらの項目を呼び出してほしい。	関係省庁で、引き続き検討中です。	S	
111	海上	入出港	日本船主協会	IVD	入出港日別照会において照会できる日がシステム年月日≦入出港（予定）年月日となっており、過去（確定情報）の照会ができないため、照会できる範囲を過去（10日程度前）まで遡って照会可能としてほしい。	過去情報に対する入出港日別一覧照会の可能化 にて検討	S	
112	海上	入出港	事務所個別	IVS	「A1:船舶運航情報照会」では、照会時点での本邦寄港地順序は照会できるが、運航情報の登録、訂正履歴が出力されないため、IVS業務の「A1」にて、登録・変更の日時、利用者コードが出力されるようにしてほしい。	船舶運航情報の更新履歴の照会可能化 にて検討	S	
113	海上	入出港	船舶代理店協会	JPT	入出港関係業務に係る申請内容と許可内容を1枚で出力してほしい。	検討しない	S	
114	海上	入出港	船舶代理店協会	JPT VPT VPX	危険物荷役許可書、停泊場所指定願、係留施設使用届等について、申請者に対しても関係官庁に出力されているものと同様の申請内容が記載された許可情報を自動出力してほしい。	入出港関連手続きにおける呼び出し機能の充実 にて検討	S	
115	海上	入出港	船舶代理店協会	TPC	申請等を行わなければ、船舶運航者は申告者として認められないにも関わらず、TPC業務の船舶運航者の欄は必須入力になっていないため、事前申請を行わなくてもそのまま税関に対して送信できてしまう。 ②船舶運航者コードを入力した際に「事前申請が必要である」旨のワーニング表示が出るようにしてほしい。	サブWG（入出港）対象	S	

項番	区分1	区分	要望元	業務コード	変 更 要 望 内 容	検 討 状 況	検討要否	WG委員意見
116	海上	入出港	船舶代理店協会	TPC	申請等を行わなければ、船舶運航者は申告者として認められないにも関わらず、T P C 業務の船舶運航者の欄は必須入力になっていないため、事前申請を行わなくてもそのまま税関に対して送信できてしまう。 ③ T P C 業務画面で事前申請の有無を入力できる欄を追加し、事前申請をしていない状況で船舶運航者コードを入力した際にエラー表示が出るようにしてほしい。	サブWG（入出港）対象	S	
117	海上	入出港	船舶代理店協会	VBV	船舶基本情報の登録内容の変更について、他の港の代理店が入港前統一申請や入出港業務を行っていないか確認メッセージを表示してほしい。	サブWG（入出港）対象	S	
118	海上	入出港	事務所個別	VBV11	出港（出港許可）が完了するまで、他の利用者により船舶基本情報の訂正や削除ができないようにしてほしい。	検討しない	S	
119	海上	入出港	事務所個別	VIT	②「出港届 B（V I T）」業務の入港前外国の寄港地の入出港年月日について、未来の日付はエラーを表示してほしい。	サブWG（入出港）対象	S	
120	海上	入出港	事務所個別	VIT	③「出港届 B（V I T）」業務の当港入港前本邦寄港地の入出港年月日について、未来の日付はエラーを表示してほしい。	サブWG（入出港）対象	S	
121	海上	入出港	事務所個別	VIT	④「出港届 B（V I T）」業務の入港港情報のびょう泊日時・着岸日時について、未来の日付はエラーを表示してほしい。	サブWG（入出港）対象	S	
122	海上	入出港	事務所個別	VIT	⑤「出港届 B（V I T）」業務の入港港情報の離岸日時について、過去の日付はエラーを表示してほしい。	サブWG（入出港）対象	S	
123	海上	入出港	船舶代理店協会	VIT VOT	入港届のデータを利用して、出港届を提出できるようにしてほしい。	サブWG（入出港）対象	S	
124	海上	入出港	事務所個別	VIX VIT	入港届（V I X、V I T）業務の訂正、取消をした場合に、入港届（転錨届）訂正・取消情報を出力してほしい。 また出港届においても、訂正情報が出力されるようにしてほしい。	サブWG（入出港）対象 要望内容詳細を確認	S	
125	海上	入出港	事務所個別	VIX VOX	「船舶運航情報登録（V T X 0 1）」業務、及び「入港前統一申請（V P X）」業務の段階で、外航パースでないのであれば、その時点でエラーが出力されるようにしてほしい。	サブWG（入出港）対象	S	
126	海上	入出港	事務所個別	VOT	⑥「出港届 B（V O T）」業務の本邦入港前外国の寄港地の入出港年月日について、未来の日付はエラーを表示してほしい。	サブWG（入出港）対象	S	

項番	区分1	区分	要望元	業務コード	変 更 要 望 内 容	検 討 状 況	検討要否	WG委員意見
127	海上	入出港	事務所個別	VOT	⑦「出港届B（VOT）」業務の当港入港前本邦寄港地の入出港年月日について、未来の日付はエラーを表示してほしい。	サブWG（入出港）対象	S	
128	海上	入出港	事務所個別	VOT	⑧「出港届B（VOT）」業務の出港港情報の離岸日時について、過去の日付及び入力日から起算して10日以上経過する日はエラーを表示してほしい。	サブWG（入出港）対象	S	
129	海上	入出港	事務所個別	VOT	⑨「出港届B（VOT）」業務の送信時に「入港届提出番号が入力されていないが、問題無いか。」という旨のワーニングを表示してほしい。	サブWG（入出港）対象	S	
130	海上	入出港	事務所個別	VPT	保証契約書番号が22桁で入力できなかった。保証契約書番号が21桁以上の船舶のシステム利用を担保してほしい。 今回は、地方運輸局に相談し今回限りで名称欄を使用することにより対応してもらった。地方運輸局に保証契約書番号が21桁以上の場合について相談したところ、地方運輸局は港湾EDIでNACCSの画面はわからないので、NACCSに相談するよう言われた。 今後、21桁以上の保証契約書番号が増えることもあることから、桁数の変更ができなくても、運用で対応できるよう地方運輸局と調整してほしい。	サブWG（入出港）対象	S	
131	海上	入出港	事務所個別	VPT	乗組員・旅客情報事前報告（税関）に「出港予定日時」項目を追加するか、「備考欄」を項目追加してほしい。	検討しない	S	
132	海上	入出港	船舶代理店協会	VPT	VPT業務での入国管理局への申請で、乗組員情報の提出方法を「システム」と「マニュアル」から選択できるが、入国管理局は「マニュアル」処理でのシステム業務を受け付けられないため、入国管理局で受け付けるようにするか、入国管理局に対する「マニュアル」の選択ができないようにしてほしい。	サブWG（入出港）対象	S	
133	海上	入出港	船舶代理店協会	VPT	VPT業務でシステム入力できる乗員数の上限が500名である一方、CRW業務での乗員数の上限は1500名となっているため、VPT業務及びCRW03業務での乗員数の制限を無くしてほしい。	サブWG（入出港）対象 要望内容詳細を確認	S	
134	海上	入出港	事務所個別	VPT	⑩「入港前統一申請B（VPT）」業務のびょう泊日時、着岸日時、離岸日時について、過去の日付はエラーを表示してほしい。	サブWG（入出港）対象	S	
135	海上	入出港	船舶代理店協会	VPT VIT	VPT業務の事前通報やVIT業務の外国寄港地、国内寄港地の欄を、別では無く、国内、国外統一にしてほしい。	サブWG（入出港）対象 要望内容詳細を確認	S	

項番	区分1	区分	要望元	業務コード	変 更 要 望 内 容	検 討 状 況	検討要否	WG委員意見
136	海上	入出港	日本船主協会	VPX VPT VIX VIT VOX VOT	入出港業務において申請後に訂正を行う場合、税関は訂正を認めているが、入国管理局は新規で申請を行う必要があるため、各官庁における訂正方法を統一してほしい。	サブWG（入出港）対象 要望内容詳細を確認	S	
137	海上	入出港	日本船主協会	VTX01	スケジュール変更（ローテーション変更）により寄港順序が入れ替わるが、その場合入替作業（転記等）が必要となり時間を要す。また、転記によるミスに繋がる可能性があるため、寄港順序を変更可能にしてほしい。若しくは、本邦寄港地情報に寄港順の表示を設け、任意で寄港順序が変更できるようにしてほしい。	サブWG（入出港）対象	S	
138	海上	入出港	事務所個別	VTX01 IVS	①「船舶運航情報登録（VTX01）」の変更について、「入港前統一申請（VPX）」業務又は「入港届B（VIX）」業務後、出港までの間に、他港の代理店が変更できないようにしてほしい。	サブWG（入出港）対象 検討しない 1 船舶あたりの運航情報件数の拡大 及び 船舶運航情報の複数登録化 にて検討を行うため	S	
139	海上	入出港	事務所個別	VTX01 IVS	②「入港前統一申請（VPX）」、「入港届（VIX）」、「出港届（VOX）」の訂正について、本邦寄港順序の訂正が簡易に出来るようにしてほしい。	サブWG（入出港）対象	S	
140	海上	入出港	事務所個別	VTX01 IVS	③「入出港届等照会（IVS）」業務で照会した際に、どここの船舶代理店が船舶運航情報を訂正したかが分かるように、業務履歴を追加してほしい。	サブWG（入出港）対象	S	
141	海上	入出港	船舶代理店協会	VTX02	入国管理局及び税関に対する乗組員情報の登録及び変更のタイミングを統一してほしい。	個別検討会で確認 （入国管理局）	S	
142	海上	入出港	船舶代理店協会	VTX02	①税関と入国管理局に、共通のデータが送信されるようにしてほしい。	サブWG（入出港）で検討 要望内容詳細を確認	S	
143	海上	入出港	日本船主協会	VTX03 VTX04	次の航海において旅客及び船用品が無い場合、VTX03、VTX04業務でNILとして送信する必要があるため、当該業務に処理区分に「削除」機能を設けてほしい。	サブWG（入出港）対象	S	
144	海上	入出港	事務所個別	VTX13 VTX14	①「入港前統一申請（VPX）」業務で旅客と船用品情報を「無し」とした場合、旅客と船用品情報が添付されないようにしてほしい。	サブWG（入出港）対象	S	
145	海上	入出港	事務所個別	VTX13 VTX14	②「入港前統一申請（VPX）」業務で一度入力した旅客と船用品情報について、削除できるようにしてほしい。	サブWG（入出港）対象	S	

項 番	区分1	区分	要望元	業務 コード	変 更 要 望 内 容	検 討 状 況	検討 要否	WG委員意見
147			海上WG委員 (通関)	ACL	現行のACL業務では「記号番号」欄が4行(140桁)しか入力できないため、アナログ的に記号番号のみ紙に複写して、船社、CY等にFAXしている。 記号番号欄の桁数を拡大するか、添付機能を追加してほしい。	サブWG(ACL)において検討	S	第8回WG後の追加要望
148			海上WG委員 (代理店)	BIA	(現状) 在来船のマニフェスト登録について、1B/Lの貨物を陸揚げ後、直接複数の保税倉庫に搬入する場合、マニフェストの分割が出来ない為、倉庫側でBIAが出来ない。システム外搬入を行おうとしても上流にデータが有り、エラーとなるため折角登録したマニフェストデータの削除を求められる。又、マニフェストデータが有る状態で別の貨物番号でシステム外搬入を行った場合、登録したマニフェストデータが宙に浮いてしまうため、結局削除を求められる。 (要望内容) このようなシチュエーションでマニフェストデータを削除せずに、BIAが行える仕組みを考えて頂きたい。	→ 検討する	○	第8回WG後の追加要望 (第9回) B/Lの分割仕分けを行う為には、一旦搬入をあげなければならないところ 在来船の場合は搬入をあげる人が存在しないことが不具合の原因です。 ならば誰かが搬入確認と同様の業務(以下「疑似搬入」という。)を行うことが出来れば後続で仕分けを行うことが出来るのですが、これを民間利用者ではなく税関に行って頂く仕様にするのは如何でしょうか？ 本船入港後では、仕分け作業が間に合わないと思いますので、入港前であっても疑似搬入を行えるようにして頂く必要が有ります。 あくまでも後続に繋げるためだけに仕分けを行うという作業ですので、わざわざこのためだけに願い書を提出するということは必要とせず、利用者側の手間にならない程度、例えば口頭連絡のみで作業を行って頂けるようにして頂きたいと考えます。WGの資料では、「運用について税関に検討をお願いする。」ことになっておりますので、このようなことをせずとも対応可能な方法を税関が考えて頂けるのであれば本件はご放念頂いて結構です。 → 検討いたします。